

※今月のみ受注の書目です。

民法

物権変動における第三者保護の法理 権利変動論の展開

(2025 年 3 月中旬刊行予定)

松尾弘（慶應義塾大学大学院法務研究科教授）[著]

A5 上製／384 頁 税込予価 7,150 円 ISBN978-4-7664-3013-4 C3032

👉 ココに注目！

- ・物権の中核、物権変動の法理に関する研究書。
- ・物権変動の理論的空隙を再構築する。
- ・民法の理論的発展の礎となる 1 冊。

物権変動の理論的細部に迫る研究書。対抗の法理と無権利の法理の間隙を埋め、当事者同士ではない第三者の権利を保証する、新たな「権利保護資格の法理」を提示。曖昧だった権利帰属決定のルールを体系化する、今後の民法の理論的発展の礎となる一冊。

対象 (民法・物権法の) 研究者

類書 滝沢幸代『物権変動の理論 II』(有斐閣)

【営業部からのおすすめポイント】

本書で取り扱う、物権変動に関連して、当事者ではない第三者をどのように保護すべきかという法理は、物権法、また民法の中核をなすテーマでありながら、理論的な細部が緻密に詰められていない分野でもありました。そこで本書では、所有権の移転をはじめとする第三者の保護ルールの適用範囲や要件および効果について、一貫した法理（第三者保護法理）を明らかにしようと試みるものです。著者の松尾弘先生はこの分野の研究を積み重ねられてきており、今後の民法の理論的発展の礎になる 1 冊です。

(吉川)

👉 主要目次、注文書、関連既刊を裏面に掲載！ ぜひご確認ください！

【主要目次】

序 説 物権変動の態様と第三者保護の法理

第Ⅰ部 物権変動における意思主義と無因主義

第1章 物権変動の意思主義と無因主義

第2章 物権変動の無因主義をめぐるヴァッケーヴィーリング論争

第3章 権利移転原因の失効と第三者の対抗要件

第4章 物権変動の遡及的消滅の解釈

第Ⅱ部 物権変動における「対抗の法理」と「無権利の法理」の間

第5章 対抗の法理と無権利の法理の交錯

第6章 物権変動における第三者保護法理の類型化

第7章 対抗の法理と対抗要件

第8章 無権利の法理と権利取得要件

第9章 権利保護資格の法理と権利保護資格要件

第10章 要件事実論からの検討

結 語 物権変動論から権利変動論へ



ご注文は FAX で！ 03－3451－3124



新刊委託	番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	税込予価	部数
			松尾弘 著 物権変動における第三者保護の法理 －権利変動論の展開 ISBN978-4-7664-3013-4 C3032	7,150 円	★★

★1つで「500部」を表します

著者既刊（ぜひ併せてご注文ください！）

返品条件付注文品	番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	定価(税込)
			松尾弘 著 物権法改正を読む －令和3年民法・不動産登記法改正等のポイント ISBN978-4-7664-2759-2 C0032	2,420 円